

主要施策名:(2)生涯学習の充実

事務事業本数:15

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(2)生涯学習の充実	(1)社会教育の推進	221-1	社会教育委員・指導員活動及び研修事業	コミュニティ推進課
			221-2	社会教育団体支援事業	コミュニティ推進課
			221-3	地域学校協働活動推進事業	コミュニティ推進課
			221-4	人権教育啓発推進研修事業	コミュニティ推進課
			221-5	二十歳を祝う会開催事業	コミュニティ推進課
			221-6	高齢者教室開催事業	コミュニティ推進課
			221-7	青少年センター事務局事業	コミュニティ推進課
		(2)公民館の振興	222-1	岱明防災コミュニティセンター施設管理運営事業	コミュニティ推進課
			222-3	公民館施設管理・運営事業	コミュニティ推進課
			222-5	生涯学習推進事業	コミュニティ推進課
			222-6	岱明町ホテルの里維持管理事業	コミュニティ推進課
		(3)図書館の振興	223-1	図書館運営事業	コミュニティ推進課
			223-2	子ども読書推進事業	コミュニティ推進課
			223-3	図書館システム事業	コミュニティ推進課
			223-4	図書館施設管理事業	コミュニティ推進課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会教育委員・指導員活動及び研修事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課						
			作成者(担当者)	乗富あずさ						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】 ■ 該当					
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実								
	施策区分	(1)社会教育の推進								
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、市社会教育委員設置条例、市社会教育指導員に関する規則 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし									
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務									
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	10	項	5	目	1	細目	2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	教育に関する知識をあらゆる生涯学習に生かしながら、各種事業への協力及び助言が必要とされているとともに、市民の意向を生涯学習事業に反映させるために、社会教育委員からの生涯学習事業への指導・助言をする仕組みづくりが必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、社会教育委員、社会教育指導員
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	生涯学習の各分野についての直接指導及び相談等に社会教育指導員があたり、社会教育事業全般を充実させる。また、各研修会への参加により社会教育に関する知識を深めていただき、会議等において業務への助言を求める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見と研究調査、青少年教育の特定分野に関係するものへの助言と指導を教育委員会が委嘱した12名の社会教育委員に行わせる。 ・社会教育の特定分野の生涯教育及び家庭教育、青少年教育、人権教育、社会体育、社会教育団体、社会教育施設運営(7項目)について直接指導と学習相談に教育委員会が任命した2名の社会教育指導員をあたらせる。
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 社会教育委員活動及び研修事業 ② 社会教育指導員活動事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	155	193	161	219	
	【16】 小計	155	193	161	219	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.10	0.10	0.10	0.10	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	548	522	543	545			
合計	703	715	704	764			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 社会教育委員活動及び研修事業	委員による教育委員会諮問への意見や調査研究を行う。	会議等参加回数	回	3	7	7	8
② 社会教育指導員活動事業	指導員による特定分野への指導や学習相談等を行う。	放課後子ども教室等参加回数	回	18	28	13	30
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	
1 社会教育委員活動参加者数	委員として委員会会議や各種事業に参加した延べ人数	人	40 39	40 41	40 36	40
2 社会教育指導員助言等回数	指導員が指導・助言・相談を行った回数	回	20 33	20 56	21 26	21

《事務事業の評価》

	評価視点		判断理由
	必要性	有効性	
[20]	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	社会教育委員は、社会教育関係団体、指導者及び関係者に助言と指導を与え、教育委員会の会議において意見を述べることを役割としている。また、教育指導員も社会教育関係者及び学校に対し助言や指導的役割をに担っており、市の実施が妥当。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	社会情勢の変化により、助言の必要性が高まっている。目的の変更はないことから見直しは行わないが、手法等の検討は考えられる。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	社会教育委員は、社会教育団体の中で発言し、活動に係わっている。社会教育団体への補助・助成金の適否の判断も担っており、休廃止は市民に影響を与える。
[21]	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	社会教育委員活動は達成。社会教育指導員が年度途中で退職したため、未達成となった。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	他に適当なものが考えられない。妥当と考える。
[22]	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	大会等参加の旅費なども削減している。これ以上低減の余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	特に検討の余地はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	直接活動を行っており、民間への委託や民間活動については検討の余地なし。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似事業なし。
[23]	【公平性】 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	社会教育を目的とした事業なので負担はない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)	社会教育委員については、研修などを通し、広く意見を求めていく。 社会教育指導員については、事業の周知を行い、活動の範囲を広げる取り組みを行う。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	社会教育委員:会議の中で、課題と思われる事例について意見交換を行った。委員の発言が増え課題を提起いただいている。これらを踏まえ、他の社会教育事業に生かしている。 社会教育指導員:情報の共有が弱い。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	社会教育委員:今後も広く意見を求めていく。 社会教育指導員:情報の共有と、事業についての情報発信に注力する。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	コロナ禍ではあったが、対面にて社会教育委員会会議を開催するとともに、各種研修会への参加も行うことができた。会議、研修会への参加により活発な意見交換や提案、識見が広められ、社会教育委員全体の資質の向上と委員活動の活性化を促すことができた。また、はつらつシア教室及び地域学校協働活動事業においては、豊富な経験を有する社会教育指導員の助言、サポートが必要不可欠であり、事業の安定した継続には社会教育指導員のこれまでの経験によるところが大きい人材確保と資質向上が必要である。	評価責任者 西川慶一郎
[26]		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 市子ども会連合会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	126	171	591	1000
② 市PTA連絡協議会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	481	509	669	750
③ 女性の会助成金交付事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	193	1091	834	850

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	
1 社会教育推進団体数	社会教育団体の構成団体数	団体	12 11	12 8	8 7	8
2 社会教育団体における事務局自立率	社会教育団体で事務局が自立している数/社会教育団体数	率	80.0 72.7	80.0 75	80.0 71.5	80.0

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必要 妥当性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 活動の主体は、団体である。活動の支援については、目的の見直しはなく、今後も補助金、事務処理補助など社会教育支援として実施すべきと考える。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 必要ない。必要とするならば、団体の活動強化に向けた支援。(予算、人的支援も含む)
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 社会教育団体は、地域コミュニティにとって重要な団体であるが、人口減少、高齢化等により活動が弱まっている。休止、廃止を行えば、地域活動、市民活動が弱まる。
有効性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 担い手の育成が遅れている。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的を達成するために、適当な構成となっている。
効率性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 団体の会員減少の中で活動しており、資金力が弱い。コスト軽減は難しい。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 件数も少なく、簡素化する項目がありません。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 社会教育団体支援における民間のノウハウの活用はありません。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業がない。
公平性	【23】 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 社会教育事業のため負担はない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	社会教育団体は、本市の社会教育活動を推進していくための市民団体であることから、今後も引き続き支援を行う。 人口減少社会において、子ども会の存続、女性の会の支援の方法については検討が必要。 子ども会:合併当時の学校区で会を維持しているが、子供の減少、役員の手配の問題がある。 女性の会:支館単位での活動で、本の読み聞かせなどが多い。支館というエリアでの人員確保は難しいのではないか。エリア拡大の検討が必要ではないか。
今後の方向性	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	女性の会の助成数が減っている。自己資金で活動を行った会もあるが、活動が弱まって助成金の補助ができない団体もある。
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	事務局の自立を重視しているが、高齢者が多い団体は事務処理に苦痛を感じている。各団体に応じたサポートを行い、まずは活動の充実を図る。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	令和4年度は新型コロナの影響により感染症対策を講じながらの活動となった。地域を支える人材を育成するため、指導者の養成や事業の後援を行い、団体の活動支援・育成を行っていく必要がある。市PTA連絡協議会、子ども会連合会等の社会教育関連団体の活動は、行政を補完し、青少年の健全育成や地域貢献につながっているため、引き続き適正な補助金の交付に努めていく。また、会員数も減少傾向にあることから、活動の活性化が難しくなっているため、今後も団体への指導・助言を行っていく。	評価責任者
【26】		西川慶一郎

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	地域学校協働活動推進事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課							
			作成者(担当者)	東 芽歩							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり				重点 施策 【4】					
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実									
	施策区分	(1)社会教育の推進									
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、熊本県教育・文化等振興補助金交付要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし										
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的業務 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10	項	5	目	1	細目	7

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域社会のつながりや支えあいの希薄化等による地域の教育力の低下や学校が抱える課題の複雑化・困難化といった社会的課題の解決を目指すとともに、地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支えていく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市立小中学校21校の児童・生徒と教職員、保護者、地域及び地域住民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	地域と学校の連携・協働体制を構築し目的を共有することで、地域学校協働活動の取り組みが増加し、学校が抱える課題が解消されるとともに、社会に開かれた教育課程が実現する。また、子どもたちが地域に目を向け地域に愛着を感じるようになり、地域も子供たちにかかわることで地域住民の学びにつながる。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H19 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・市内21小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、幅広い地域住民等の参画を得て、学校への各種学習支援を行うことで、教職員負担軽減を図り、児童・生徒と向き合う時間を増やす。また、児童・生徒が地域の実情に応じた社会奉仕活動等を実施することで郷土愛を育む。 ・放課後の空き教室を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を確保し、地域の方々の参画を得て、様々な体験活動や学習活動、交流活動を実施し子どもたちの豊かな人間性を育む。
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 地域学校協働活動推進事業 ② 放課後子供教室推進事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	2,021	2,413	2,277	5,015	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,409	1,373	1,431	2,512	
	【16】 小計	3,430	3,786	3,708	7,527	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.55	0.45	0.45	0.45	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.45	0.45	0.43	0.43	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	3,890	3,084	3,037	3,008			
合計	7,320	6,870	6,745	10,535			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 地域学校協働活動推進事業	要望のあった業務に対し、ボランティアを学校へ派遣する。	ボランティア要請種目数	種類	122	244	312	400
② 放課後子供教室推進事業	小学校の空き教室で放課後に地域住民により体験学習を実施する。	放課後子供教室実施校数	校	0	1	1	2
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 教員が児童・生徒と向き合えた時間数	学校側からの支援要請にボランティアが対応した時間	時間	3000	3000	3000	3000
			2805	3126	2904	
2 放課後子供教室参加児童数	教室に参加した児童の人数	人	20	20	20	20
			0	8	7	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必 要 性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 地域の子供たちの成長や教職員の働き方改善など、市が実施すべき事業であるため。またすでに事業内で市民や民間、行政の役割が明確化されている。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 事務事業の目的(対象・意図)の設定は適切であり、見直しは必要ないため。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 学校を核とした地域づくりや、教職員の働き方改革において、本事業は必要不可欠であるため。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 本事業については、コロナ禍の影響が続いていることに加え、児童の減少、学童の需要の高まりも影響している。放課後子供教室についても1校のみの実施となった。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 地域と学校の協働を進めるにあたり、細事業の設定は適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 支援員の報償費が主であり、見直しは難しい。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 推進員の活動では授業支援や学校の環境整備、登下校見守りなどや、対話を通じたコミュニケーションなどが多くデジタル技術等の導入による簡素化や改善は難しい。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 民間やNPOへの委託により、業務効率化や集約による効果向上が図られる事業ではないので委託は難しい。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 学校教育や地域づくりなど、幅広い目的を持った事業であり、他部署の事業との統合の余地はない。類似事業はない。
公 平 性 【23】	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。 事業の多くが推進員への報償費であり、徴収は難しい。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	新型コロナウイルス感染症対策として、地域ボランティアと学校がつながる機会が減ってしまった学校もある。ただ、未来を担う子供たちの育成には5者(子供・学校・家庭・地域・行政)の連携が必要不可欠である。コロナ禍でも地域とのつながりを絶やさないため、活動チラシの作成や広報活動、事業報告会等を開催し参画者を増やす。また、定期的に地域学校協働活動推進員や担当教職員と顔を合わせ、現状や課題、今後の方向性について協議をする場を作る。
【24】	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	前年度のふりかえりから、推進員や学校担当者の変更があった学校については年度当初に学校訪問を行い、事業について説明・意見交換を行った。今後は、協働本部として広報活動や更なる学校訪問による対話の場を設けること、情報を共有することに注力することとしている。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
【25】	これまでは地域学校協働活動が始まったばかりということで、協働本部としては、全体の底上げとなるよう推進員への学習的な研修の実施などを行ってきた。今後は事業の周知や、対話を通じた学校ごとの現状等の把握などに取り組み、各校・各推進員の状況に応じた活動の推進に取り組んでいく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	新型コロナウイルスの影響が顕著であった令和2、3年度に比べて4年度の小中学生の参加者数は増加した。多様な経験を持つ地域の大人と触れ合う機会が増えることで、子どもの多様な学習活動や、きめ細やかな教育が実現でき、教員の負担軽減につながることで、子どもと向き合う時間が確保に貢献できている。引き続き、家庭・地域・学校が連携・協力して社会全体で子どもの成長を支えていくために、地域学校協働活動とコミュニティスクールとの一体的に推進に取り組んでいく。	評価責任者 西川慶一郎
【26】		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 市人権教育推進協議会事務局庶務事業	協議会へ人権教育研究大会を委託すると共に、事務的支援を行う。	開催回数	回	0	1	1	1
② 市町村人権同和教育協議会事業	協議会主催の研修会に参加する。	参加回数	回	2	4	4	4
③ 人権教育推進啓発事業	人権啓発週間における啓発物を配布する。	啓発活動回数	回	4	4	2	4

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 市人権教育研究大会開催賛同率	意識調査による参加者の大会開催についての賛同者の割合	%	90 0	90 —	90 90	90
2 市人権教育研究大会参加者数	参加者数	人	500 0	400 200	500 597	500

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性 性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 人権教育について市民に広く啓発するため。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 人権意識の向上や、あらゆる人権問題をなくすことを目的としているため。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 学校や関係団体とも連携し人権教育や啓発に取り組んでいるため。
有 効 性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 会場開催とネット配信の併用により多くの参加者があった。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 市実施事業、関連団体との実施事業、啓発事業という重なり合った構成であるため。
効 率 性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 研修や会議等、オンライン等で参加可能なものは、内容を確認した上でオンラインで参加する。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 人権教育においては、対面が基本でありオンライン等の簡素化は求めていない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 効果的な人権啓発活動の参考とするため。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業がないため。
公 平 性	【23】 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし この事業は特に受益者負担はないため。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況により、事業実施の有無の判断や、実施方法の見直しが必要となるものが引き続き考えられる。感染対策を徹底し事業を対面で実施する方法を中心に、書面での実施、録画やオンライン配信の利用など、コロナ禍においても人権啓発活動が滞ることなく推進できる事業実施の方法を検討する。
【24】	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	人権教育研究大会については、コロナ禍のため会場での対面開催とオンライン配信の併用により開催し、多くの参加者に参加してもらうことができた。今後は、対面による事業実施を基本とし、それぞれの事業に適した実施方法を検討する。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
【25】	
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	今までの事業内容を継続する。今まで学習に参加していない市民が参加できる取り組みの検討。児童・生徒に対する標語やポスターの募集については、類似した事業があり学校の負担となっている。簡素化など学校との調整を検討する。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	コロナ禍により市人権教育研究大会は、同和教育をテーマに会場での講演会とオンライン配信によるハイブリッド型の開催方法で実施した。課題としては、出席者が教職員、社会教育関係者、自治会関係者、民生児童委員など参加者の固定化がみられたため、今後広く一般市民からの参加を促していく。また、市内の各種団体と連携を強化し、様々な人権問題に取り組むとともに方向性の共有化を図り、継続的な人権教育の推進を目指していく。	評価責任者 西川 慶一郎
----------------------	--	-----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 二十歳を祝う会開催事業	成人式実行委員会を組織し、成人者の企画運営により式を挙げる。	成人式案内者数	人	658	651	614	650
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 成人式参加率	【参加者/案内者数×100】	%	76	76	75	85
			0	84	83	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 利益性はないが、二十歳になったものを祝い、励ます機会として重要な式典のため市が実施する必要がある。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 対象は変化しないため見直しの必要なし。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 二十歳になったものを祝い、大人としての自覚と責任を促し、地域社会の一員としての自覚を認識させるために事業を休止することは市民に影響がある。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 達成できた。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的を達成するための構成として適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 検討の余地なし。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり すでに簡素化して執行しているため余地はないが、適宜改善できることを検討していく。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 検討の余地なし。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似事業がないため余地なし。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 記念写真代として徴収を行っている。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) 成年年齢が18歳に引き下げられたが、玉名市では現行のまま20歳で開催することにした。また、実行委員会主催での開催は継続し、式典やアトラクションについて協議・準備を行う。心身ともにたくましい社会人になるよう激励するために現状のまま継続とする。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) コロナ禍で、健康チェックシートの提出や消毒などの感染対策を講じて、従来の形で開催する事ができた。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容 【26】	実行委員会形式での開催は継続し、式典やアトラクションについて協議・準備を行う。開催日について様々なメリット、デメリットが考えられるため、開催日についてのアンケートをとる。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	評価責任者
民法改正後、成年年齢が18歳に引き下げられたが、本市では20歳となった青年を祝い励まし、大人としての自覚と責任をもってもらうために「二十歳を祝う会」を開催した。市内7中学校から14名で実行委員会を構成し、遠隔地の人でも参加できるように会議はオンラインで実施し、式典の構成やアトラクションの内容等について、実行委員の自主的な意見を反映することにより、二十歳にとって身近に感じられる意義深い二十歳を祝う会となっている。これから市を担っていく若者の支援、応援をすることは大変意義のある事業である。今後はWithコロナで実施していくとともに、開催日の在り方について、研究、検討を進めて行く。	西川慶一郎

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 高齢者教室事業(中央)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	4	10	20	20
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 講座受講者数	年間延べ人数	人	528	600	600	800
			95	96	480	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 高齢者が無料で学べる場がないため、市で実施すべき。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 生涯学ぶことは重要であり、対象、意図の見直しは必要ない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 廃止することは、高齢者の学習の場を奪うことになるため市民に影響がでる。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 校区に呼びかけ参加者を募集している。幅広く呼び掛けることができていない。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的を達するため、必要な構成となっている。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 個人負担もいたっており、事業コストも最低限であるため検討の余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 高齢者を対象としているため、デジタル技術の導入は検討しない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現時点では、検討の余地なし
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 今のところ考えていない。類似事業からニーズを捉えることをまずは行い、この教室の受講者だけでなくより多くの人が学べる方法を検討したい。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 社会教育事業のため受益者負担なし

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	高齢者に対し学びの場を提供すること、社会参加の提供をすることは、高齢者の生きがいでなく、健康の保持・増進につながる。今後も現状のまま継続していく。令和3年度から高齢者教室(中央)だけの開催となっているため、広く参加を促す。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	広く呼び掛けることができていない。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	現状のまま継続しながら、他団体(高齢介護課、民間等)の事業とコラボレーションするなどして、今までにないような講座の開設や、参加者を広く募集する方法の検討。また、本教室に参加できない高齢者への対応の検討も必要と考える。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	はつらつシニア教室は、人生100年時代における貴重な事業であり、豊かな人生経験をもとに時代の変化に対応した新しい知識や教養を身につけるとともに、学びの成果を積極的に地域社会に生かし、まちづくりの一翼を担う人材を輩出することを目指している。今後も学習内容のマンネリ化を防ぐため、受講者のニーズに応えた多様な学習内容を積極的に取り入れるとともに、新たな受講生を増やすために、更なる事業PR等周知広報の方法の検討を行う必要がある。	評価責任者 西川慶一郎
----------------------	--	--------------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	青少年センター事務局事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			作成者(担当者)	池田 実央
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実		
	施策区分	(1)社会教育の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市青少年センター規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
	事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務		
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	10 項 5 目 5 細目 1

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	少年非行は低年齢化、一般化の傾向を示し、凶悪・粗暴な非行が社会に大きな衝撃を与える事件も発生し、増加しており社会問題となっている。そのような中で、地域住民及び関係機関並びに関係団体の協力の下で、地域の安全を確保する活動が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	青少年、青少年教育関係者および団体、市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	警察、学校、地域並びに関係機関等との連携を密にし、非行の早期発見や防止に努め青少年の健全育成を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・市青少年センター事務局としての各種事務(会議開催、関係機関との連絡調整等)を行う。 ・市が委嘱した補導員による街頭での巡回指導等を行う。 ・犯罪や非行のない社会を築こうとする活動である“社会を明るくする運動”を毎年7月の強調月間に実施する。 ・玉名広域補導連絡協議会事務局としての各種事務(定例会や研修会等の開催)を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本 ⇒ ① 青少年センター事務局事業 ② 社会を明るくする運動事業 ③ 玉名広域補導連絡協議会事務局庶務事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,542	1,571	1,784	2,956	
	【16】 小計	1,542	1,571	1,784	2,956	0	
	職人件費	職員人工数	0.40	0.67	0.52	0.52	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.45	0.45	0.43	0.43	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	3,068	4,233	3,417	3,390			
合計	4,610	5,804	5,201	6,346			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 青少年センター事務局事業	教育委員会が委嘱した補導員により青少年を健全に育成する。	街頭補導実施回数	回	206	124	280	280
② 社会を明るくする運動事業	広報等の啓発活動を行う。	広報車巡回活動	回	0	0	2	2
③ 玉名広域補導連絡協議会事務局庶務事業	広域的に、青少年に関わる事業に取り組む	会議、研修回数(総会、定例会、一斉補導)	回	4	4	9	9

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 市内少年犯罪発生件数	市内における18歳未満の少年少女が犯した犯罪発生件数	件	7	1	1	1
2 玉名警察署管内の検挙・補導件数	玉名警察署が検挙・補導した件数	件	9	3	3	3
			3	3	9	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 青少年の健全育成は市が取り組むべき。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 社会情勢の変化があっても、補導以外にも危険箇所の確認、清掃活動等様々なことを兼ねて巡回に出ているので、見直しの余地なし。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 補導員の制服を着て巡回することで治安の維持に繋がっているため。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 コロナ禍の外出自粛が緩和されて人出が多くなったためと考えられる。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的を達成するため適当な構成となっている。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 最低限の費用で執行しているため削減の余地なし。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 補導計画書や補導報告書のデジタル化が考えられるが、補導員の年齢層が高いこともあり、デジタル化に対応できない人の対処などさらに手間がかかってしまう可能性がある。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 民間のノウハウ活用は難しいかもしれないが、県内各市の補導センターや警察のノウハウは活用できる。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業があっても、目的や対象が違うため検討の余地なし。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 不特定多数に及ぶため検討の余地なし。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	警察等の関係機関との連携を密にし、非行の早期発見や防止に努めるため、定期的に街頭指導を実施するなど、引き続き事業を継続していく。また、青少年の健全育成に対する一般の理解と協力を深めるため、青少年育成市民会議で実施してきた中学生・働く青少年(30歳未満)による「青少年の主張」弁論大会を開催する。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	非行の早期発見や防止に努めるため、定期的な街頭指導や、県下一斉たまり場補導を実施するなど、引き続き事業を継続していく。 また、青少年健全育成や、非行防止を目的とした作文や標語の募集を行っているが、募集が学校の負担にならないように募集方法を改善していく。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容 【26】	今までの事業内容を継続しつつ、今後は更に補導員の高齢化や担い手不足が予想されるので、募集方法や活動の取り組み方などを検討していく。 また、作文や標語の募集に関しては、出来るものは学校を通さずに公共施設に要項を配布したり、学校には周知だけお願いするようにしたりして、学校の負担軽減になるように改善する。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	複雑化している社会環境の中、青少年の問題行動や非行行為を未然に防ぎ、問題を起こした青少年を見守ることが重要な課題である。関係機関との情報交換等により、青少年の動向を把握するとともに連携を図り、街頭補導活動を通して粘り強く少年の非行防止・健全育成に努めていくことが今後必要であり、一層の活動充実を図りたい。	評価責任者 西川 慶一郎
----------------------	--	-----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 岱明防災コミュニティセンター施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	利用申請件数	件	***	***	1170	2000
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 利用率	利用コマ数/利用可能コマ数(開館日数×3(午前・午後・夜間))	%	***	***	35	35
			***	***	40	
2 利用者数	利用した人数	人	***	***	15000	30000
			***	***	16611	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 防災拠点とコミュニティセンターを併せ持つ機能として整備し、市が管理することが前提として、都市計画法上の建築許可もおいている。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 令和4年度にできたため、防災コミュニティセンター設置の意図や目的の見直しの必要はない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 防災拠点、市民のコミュニティの場が奪われる。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 利用率、利用者数ともに達成。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 構成は適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 利用者に安心安全に施設利用するために最低限必要な経費である。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 公共施設予約システムで導入を検討中。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 施設の維持管理のみ、包括維持管理を管財課で提案検討中。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 防災とコミュニティが一体となっており、他の施設との類似性はない。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし コミュニティセンター(公民館)の料金として、妥当である。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 該当なし
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	適正な維持管理ができるように今後更に検討を行う。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	令和4年10月の供用開始後、地域防災の拠点として災害時における避難所としての安全性の確保や高齢者や障がい者の方にも安心して利用できるような適切な維持管理に努めていく。また、社会教育の実践の場、地域交流の場として多くの方々に使っていただけるように、サービス向上に努めていく。	評価責任者 西川 慶一郎
----------------------	--	------------------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 中央公民館(文化センター)施設管理運営業務	施設の維持管理・運営や貸出等を行う。	利用件数	件	1096	1301	1884	1934
② 横島町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	利用件数	件	1078	1313	1847	1897
③ 天水町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	利用件数	件	740	1155	760	810

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 公民館利用率	年間申請件数÷利用可能コマ数(開館日数×3(午前・午後・夜間))	%	20	17	22	24
2 1日の平均利用件数	[(中央利用件数÷開館日数)+(岱明利用件数÷開館日数)+(横島利用件数÷開館日数)+(天水利用件数÷開館日数)]÷4	件	4	3	4	5
			3.1	4.3	4	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 妥 当 性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 市が実施するよう法令等で義務付けられている
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 法令で義務付けられているため
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 施設利用者の活動等に影響あり
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 公民館の利用率、1日の利用件数ともに目標達成ができた。コロナの影響も考えられる。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的を達成するためには、構成は適当である
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 利用者に安心安全に施設利用してもらうには必要な経費である
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 公共施設予約システム導入を検討中
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 利用しやすい環境づくりには民間のノウハウ活用も必要であるが、現状のまま実施する。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 社会教育施設であるため、目的と同じ事務事業なし
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 4公民館ともに使用料に差があるが、利用者に利用しやすい料金設定が必要のため、現状のまま継続する。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) 令和3年度に比べて令和4年度は新型コロナウイルスの影響は減ってきたものの、館内消毒の徹底や研修室の利用は定員の半分以上に制限するなど、県内のリスクレベルに応じたソフト面における感染防止対策を引き続き行う。岱明においては令和4年10月に施設が新しくなるため、旧施設の利用者が引き続き利用しやすい環境また新規利用者の獲得を目指す。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 令和4年度新型コロナウイルスの県内リスクレベルに応じた、管内消毒の徹底や研修室の利用の定員制限など行った。岱明においては令和4年10月から新施設になり利用者も増え利用しやすい環境になった。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	令和5年5月からは新型コロナウイルスも5類に下がり、研修室利用の定員制限をなくしたので施設利用者が今後増えると考えられる。利用者が増えるにあたって、安心安全に使用できる施設のあり方を検討していく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	評価責任者
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、研修室の利用人数の制限を実施したものの、公民館利用率については前年度と比較すると回復傾向となった。音楽関係の自主グループ等の活動再開も実施することができ、参加者からも安堵の声を聞くことができた。コロナの行方を見通せない状況の中で、これからもアフターコロナをベースとし、市民が安全で快適に学習できる環境を維持するため、施設管理を適正に行い魅力のある施設として利用してもらえるように創意工夫を行い、効率的で持続可能な運営に努める。	西川 慶一郎

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	生涯学習推進事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	山川 祐樹	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(2)公民館の振興			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的業務 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項 5 目 2 細目 6

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	公民館活動では、公民館が連携し、子どもから高齢者まで市民一人一人が生涯にわたって学習し、自己実現を目指し、潤いのある豊かな人生をおくるため、各種公民館主催講座を開講し学習の機会を提供している。しかし、子どもの数の減少や、高齢者の就業継続、情報化、ライフスタイルの多様化により、講座の受講者数が減少している。これからは、多様化・高度化する利用者の生活課題や学習ニーズを的確に把握し、いつでも誰でも学べる学習機会及び情報の提供を充実させる必要がある。また、主催講座受講生と自主サークル活動参加者の交流を図れるよう、発表の場のあり方を検討する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	それぞれの世代の学習ニーズを把握し、生涯にわたって学び続けることができる学習機会の提供の充実を図る。また、公民館利用者は高齢者が多い傾向にあるため、学校の長期休業日を利用して、子どもや親子を対象とした学習講座を実施し、子どもの居場所づくりや親子の触れ合いの場の確保に努めるとともに、新たな受講者と受講者層の拡大を図る。さらに、主催講座受講生と自主サークル活動参加者の交流を図ることにより、受講生同士の交流促進と情報交換を通じ、活動の機会や幅が広がるよう積極的な支援を行う。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度 】 【 H17 年度から 】 【 年度～ 年度まで 】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容 【14】	市民が生涯にわたって学習できるように、多様な学習機会の場として、各種公民館講座を開催する。また、主催講座の成果を発表する機会として、動画と写真の巡回展を行っている。しかし、今後のあり方については検討が必要である。各公民館では、子ども相撲大会、通学合宿など地域の特色ある社会教育事業を実施し、子どもの居場所づくりや学習機会を提供する。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ① 中央公民館生涯学習事業 ② 岱明町公民館生涯学習事業 ③ 横島町公民館生涯学習事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	11	0	0	0	
		一般財源	1,849	1,779	2,241	3,111	
		【16】 小計	1,860	1,779	2,241	3,111	0
	職人員件の費	職員人工数	2.38	2.35	2.20	2.20	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.75	0.75	0.75	0.75	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
	【17】 小計	14,496	13,498	12,981	12,960		
	合計	16,356	15,277	15,222	16,071		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 中央公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	68	49	66	80
② 岱明町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	72	77	98	78
③ 横島町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	38	56	64	55

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 講座受講者数の割合	募集定員に対する受講者数の割合	%	100	100	100	100
			89	96	95.5	
2 動画配信回数	年間の配信数	回	-	5	5	0
			13	9	0	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必 要 性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 公民館講座の民間委託も可能ではあるが、効果については受託団体の裁量に大きく委ねられるため、市が実施すべき。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 変化し続ける地域社会や市民のニーズを汲み取り、その時々に応じた事業を実施している
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 生涯学習に関する学びの場が減少すると、地域や家庭の孤立化が加速し、生活環境の悪化に繋がる恐れがある。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 講座のジャンルによっては参加意欲もしくは興味が薄いと感ぜられるものがあり、改善の余地がある。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的を達成するには、構成は適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり ニーズに応じた適切な講師派遣が必要だと考えられる。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 事業の周知及び募集、申込みにLINE等のアプリケーションを活用し、市民の利便性の向上に繋げる。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 企業・団体の社会貢献事業を活用し、質の高い教育が手軽に受けられる環境を創造する。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 各課で実施してる類似事業については、独自に対象者を設定している場合もあるため、今後慎重に判断し検討を行う。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし 現在は材料費のみ負担いただいております。受講料やレッスン料としては徴収していません。今後も同様の形態で実施したい。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)	令和3年度から引き続き各公民館の特性や地域性に於いた講座を開講する。また、社会教育×SDGs推進部会をとおして把握できた行政課題・地域課題に関する講座や動画も各課と連携し実施する。また、講座の開講については、コロナ禍でも継続して開講できるよう、定員数の見直しやときには公民館ではなく外での開講も視野に入れて参加しやすい工夫を行う。自主サークルの支援においては、コロナ禍で新たな自主サークル立ち上げが難しいことから現状の自主サークルが継続して活動できるよう支援を行う。フェスティバルにおいては、ありかたを検討する。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	さまざまな分野の講座を企画し、多くの市民の学びの場として大いに貢献できたこと。社会教育×SDGs部会では、横の連携を高めることで、多くの行政的課題の発掘に成功した。今後はこれら課題の解決に向けて、講座という観点からの解決又はきっかけ作りを実践したい。また試験的に屋外での講座など、館にこだわらない企画を実現。天候の心配はあったが、講座としては問題なく実施できたため、さらなる可能性の広がりを感じた。自主サークルとしては、コロナ禍の自粛から一転し、多くのサークルに活気が戻りつつある年となった。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も市民の学習意欲を掻き立てるような様々な講座を開催し、社会教育や家庭教育の場としてはもちろん、地域住民の居場所となるような公民館運営を目指す。特に核家族の増加や家庭内でのコミュニケーション不足などの課題も顕在化しており、親子でともに学ぶ機会など子どもの体験活動の機会を大いに提供する必要があると考える。それぞれの年代が持つ課題の解消に向け、教育を軸とした働きかけを実践していきたい。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【26】	市民に学習機会を提供し、現代的課題や地域の課題を解決する場として公民館が活性化することは、自発的な市民協働につながる点で非常に大切である。核家族の増加や家庭内でのコミュニケーション不足等の課題や家族や地域のつながりを深める役割として講座を企画・実施することは今後も必要である。公民館の継続利用につなげるため、地域の人間同士の交流の大切さ・楽しさを味わうことから人間関係を深め、市民同士の自発的な活動に発展させる講座を企画していくことが必要である。	評価責任者 西川 慶一郎
------------------	---	-----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 岱明町ホタルの里維持管理業務	施設の点検、修理等を行い、適切に管理を行う。	点検、修理確認回数	回	12	12	12	12
② 岱明町ホタルの里委託業務	ホタルの生育に必要な環境の整備を外部に委託し行う。	環境保全活動日数	日	365	365	365	366
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 ホタルや環境保全に関心を持つ人数	観賞会・保護活動等に参加した人数	人	2500	2000	2000	2000
			2050	2554	3092	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 性 【20】)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 旧岱明町時代から、直営事業として取り組んでいる。現在も地元各種団体の協力も得て成り立っており、今後も直営(管理は委託)で行うべきである。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり ホタル生育を通じて、情操教育、自然環境保全に結びついているため妥当である。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ホタル生育を通じて、情操教育、自然環境保全に結びついており、市民の心の豊かさがなくなる。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 見学会に想定以上の人が来場された。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目標を達成するために、構成は適当である。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 小規模な修繕などは自ら施工しており、これ以上コスト削減の余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり デジタル的要素を取り入れた、簡素化ができる事務事業ではない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 維持管理、生育管理については、専門的知識を有している地域の保全隊に委託している。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事務事業はない。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益的行為でないため、受益者負担を徴収する検討は、余地なし。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	コロナ禍において、ホタル観賞会が出来ない状態が続いているが、ホタルを通じた環境への関心を持つ方が多い。現在は自由見学会となっているが、先が見えたときは鑑賞会へ切り替えて、引き続きホタルを通じた環境啓発活動を行う。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	ホタルを通じた環境への関心を持つ多い、引き続きホタルを通じた環境啓発活動を行う。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
	今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	ホタルを通じた環境への関心を持つ多い、引き続きホタルを通じた環境啓発活動を行う。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	ホタルの里を維持管理することにより、市内の貴重な自然環境の保全とともに市民や小・中学生に自然の大切さを学ぶ機会と憩いの場を提供している。市内でホタルを鑑賞できる貴重な自然が残っている地域であり、地元の小中学生の貴重な学び場となっておりホタル祭り・鑑賞期間は天候に左右されるものの、例年2,500人前後の鑑賞者が訪れ、環境を学ぶ機会が提供できていることから、継続的な措置が必要である。	評価責任者 西川 慶一郎
----------------------	---	------------------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館運営事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	荒木 俊雄	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(3)図書館の振興			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項 5 目 3 細目 2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	今日の図書館においては、多様化、高度化する市民の学習ニーズに対応できる図書資料の整備が求められていることから、各図書館の蔵書及びその構成、システム等の専門知識を備えた公共図書館としてサービスを提供する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	図書館利用者、団体、図書館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	窓口サービスを向上させ、利用者ニーズにあった図書資料を計画的に収集することで、蔵書の充実及びインターネット端末利用拡充を図り、より多くの方に利用してもらう。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・窓口業務をととして図書館運営の充実を図る。 ・利用者のニーズにあった図書資料を収集して計画的に蔵書の充実を図る。 ・市民のニーズにあった図書備品の購入。 ・寄付金を活用して図書資料(児童書)の充実を図る。 ・図書館の利用拡大及び読書推進を図るための運営や管理を行うために、協議会に対し諮問する。
	【15】 事務事業を構成する細事業(6)本 ⇒ ① 図書館窓口業務 ② 図書館資料整備事業 ③ 図書備品事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	79,683	77,764	77,584	82,323
		【16】 小 計	79,683	77,764	77,584	82,323
	職人 員 の 費	職員人工数	0.30	0.45	0.50	0.50
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451
		会計年度任用職員人工数	0.15	0.15	0.15	0.15
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291	
【17】 小 計	1,936	2,595	2,922	2,920		
合 計		81,619	80,359	80,506	85,243	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 図書館窓口業務	委託業者により貸出・返却などの窓口業務を行う。	図書館(4館)の平均開館日数	日	227	258	290	290
② 図書館資料整備事業	収集方針に基づき購入図書を選定や発注を行う。	年間購入冊数	冊	13108	13654	12729	13000
③ 図書備品事業	市民のニーズを踏まえた本や視聴覚資料の購入を行う。	年間購入資料数	点	30	28	34	30

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 人口一人当たり図書貸出冊数	人口一人当たりの図書貸出冊数 総貸出数÷3月末玉名市人口統計より	冊	5.2	4.5	5.0	5.0
2 利用者一人当たり図書貸出冊数	利用者一人当たりの図書貸出冊数 総貸出数÷年間総利用者数(重複有)	冊	3.8	4.4	4.9	5
			4	5	5	5
			4.9	4.8	4.6	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性 性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 一部業務委託を行っているが、費用の面から実施主体は市であるべき
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 全市民を対象とした、さまざまな知識の本の貸出を行っており、見直しの必要はない
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 日々新しくなる情報を取り入れる手段が減り、周りから取り残されていく。また住民サービスの低下につながる。
有 効 性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響がまだ残っていたため
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的達成のためには、現状この細事業で問題ないと思われる
効 率 性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 4図書館それぞれ、ぎりぎりの人数で運用を行っているため余地はない
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり すでにシステムを導入しており、今以上の簡素化は、検討の余地がない
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 窓口業務においては、業務委託を行っており、これ以上の余地はない
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業はない
公 平 性	【23】 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 図書館の利用なので受益者負担は考えられない

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)	今後も利用者の目線に立ち本を選書したり、蔵書冊数を増やし利用者を飽きさせない工夫をしながら、利用者増加に努める。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	司書による選書や、市民からのリクエストに応えながら蔵書の購入を行っている。それにより、貸出数については確実に伸びてきている。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	【25】
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	図書館窓口等業務については、令和7年度まで現在の委託業者と契約しているため、協力し運営に当たっていく。まちなかプロジェクトによる新たな図書館の概要が見えてきたら、それに向けた様々な検討を進めていく必要がある。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、滞在時間の短縮などの対策をとっていたが、図書館の利用者数及び貸出冊数ともに前年度より増加し、安全・安心のための対策を徹底かつ優先し、適切に事業を行うことができた。地域の知の拠点として役立つ資料・情報を提供し、読書環境の充実にも努めることで、生涯学習の推進や読書活動の推進を図っていく。	評価責任者
【26】		西川慶一郎

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	子ども読書推進事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課
			作成者(担当者)	荒木 俊雄
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実		
	施策区分	(3)図書館の振興		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例、子どもの読書活動の推進に関する法律 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市子ども読書活動推進計画(第三次) 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 3 細目 3			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	現在こどもの生活環境はテレビやゲーム、携帯電話、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及により情報が氾濫する中正しい判断能力が必要とされる。さらに幼児期からの読書週間の未形成により読書離れが進行し、その影響が懸念される。国は「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布するなど、すべての子どもがいつでも、どこでも読書ができる環境づくりに取り組む事とされている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	乳幼児、小学生、中学生、高校生
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	図書館への関心を深めるとともに、子どもが読書に親しむ機会を提供し読書環境の充実に努める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・子どもが読書に親しめるように家庭、学校、関係機関等と連携・協力して読書に親しむ機会を提供する。 ・図書館から離れた保育所(園)・幼稚園・小学校を移動図書館車で巡回して貸出を行い読書に親しんでもらう。 ・ボランティアの協力で赤ちゃんとお保護者にブックスタートパックを紹介し絵本を配布する。 ・各図書館でボランティアグループによるおはなし会を行う。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ① 子ども読書活動推進事業 ② 移動図書館車事業 ③ ブックスタート事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,376	1,077	1,091	1,029	
	【16】 小計	1,376	1,077	1,091	1,029	0	
	職人件費	職員人工数	0.40	0.55	0.45	0.45	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.15	0.16	0.16	0.16	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	2,483	3,134	2,664	2,660			
合計	3,859	4,211	3,755	3,689			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 子ども読書活動推進事業	本を読んで五・七・五や読書感想文等の読書に親しむ機会を提供する。	子ども読書活動行事実施回数	回	4	3	4	4
② 移動図書館車事業	移動図書館車で市内の保育所、小学校等を巡回する。	巡回回数	回	250	325	331	330
③ ブックスタート事業	乳幼児4ヶ月健診での読み聞かせと絵本を配布する。	絵本配布数	冊	664	570	548	550

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 幼児・児童・学生が読む本の貸し出し数	18歳までの利用者の年間利用冊数	冊	***	***	91000	100000
2 幼児・児童・学生の利用人数	18歳までの利用者の年間利用人数	人	***	90133	99911	15000
			***	***	12000	15000
			***	11867	14208	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性 性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 一部業務委託で行っているが、民間が率先してできる事業ではないため、学校保育所等調整のために市が先頭立って実施する必要がある
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 小さいときから本に親しむ機会は用意すべきである
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 市民全体として考えるなら影響は限定的だが、子どもの読書離れが進む恐れはある。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 実績による
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 成果が実感できるのには時間がかかるが、現構成で適当と思う
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 少子化が進む中、ブックスタート事業による年間購入数には若干のコスト低減の余地はある(令和5年度予算要求減額しました)
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 様々な機関との連絡調整が必要ではあるが、それに適したデジタル技術などによる簡素化は難しい
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 一部業務委託は行っているが、現状これ以上の検討の余地はない
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似事業なし
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 図書館利用なので、受益者負担は考えられない

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) 令和4年度は「図書館を使った調べる学習コンクール」など新しい事業を始めたり、昨年一昨年と実施できていなかった「一日図書館員」や「図書館まつり」などを通して、読書に親しむ機会を提供していく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 図書館を使った調べる学習コンクールは第1回目ということで、知名度がなかったため参加者自体が少なかった。令和5年度は図書館の特設なども利用し周知を行う。その他のイベントについては滞りなく行えた。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容 【26】	細事業①においては、学校への依頼が多く双方に負担がある。まずは、今年度読書感想文コンクールの冊子印刷をなくし、来年度のコンクール開催についても検討する。ブックスタートの周知方法を工夫して、確実に市内の0歳児に絵本を届け、図書館行事や図書館への来館につなげる。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	評価責任者
子どもの図書館利用の更なる拡大に向け、図書館イベントや移動図書館など効果的な事業展開を進めるとともに、小・中学校・保育園との連携を図り、事業の見直しを行いながら、子どもの読書活動の推進に努めていく。また、電子図書における児童図書のコンテンツの充実を図るとともに絵本の読み聞かせを通じて親子のコミュニケーションを深め、子どもの豊かな人間性を育てていくために、読み聞かせボランティアの育成を図る必要がある。	西川慶一郎

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館システム事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	荒木 俊雄	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(3)図書館の振興			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項 5 目 3 細目 4

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	デジタルやインターネット情報等の普及により、利用者ニーズが多様化し、ネットによる蔵書検索や予約リクエストなどの情報提供が求められている。 また書籍の電子化が進む中、電子図書館のニーズも高まってくると思われる。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	図書館利用者、団体、図書館、各種システム
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	貸出管理・図書管理は、図書館運営には重要である。蔵書及び登録者データを合理的に管理し、利用者のニーズに応えサービスを迅速かつ円滑に提供する。 電子図書館については内包する資料数を増やし、利用者の求める資料を安定的に提供できる体制を目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・電算システムにより貸出管理や蔵書管理等を行う。 ・図書購入オンラインポータルサイト[tooLi]を用いて図書データの登録と管理を行う。 ・収集方針に基づいた図書資料の選定と発注内容等を管理する。 ・図書館システムのデータベースに図書目録をデータ化する。 ・圏域により共同運用を行っている電子図書館の普及促進を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(5)本 ⇒ ① 図書館システム(ソフトウェア)運用事業 ② 図書目録作成事業 ③ 図書館オンラインポータルサイト(TOOLi)使用事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	1,286	1,376	1,376	
		一般財源	3,714	23,074	9,556	10,002	
	【16】 小計	3,714	24,360	10,932	11,378	0	
	職人 員 費	職員人工数	0.20	0.25	0.35	0.35	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.14	0.15	0.15	0.15	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	1,368	1,551	2,107	2,102			
合計	5,082	25,911	13,039	13,480			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 図書館システム(ソフトウェア)運用事業	クラウドサービスの利用により貸出管理、蔵書管理、レファレンス等の業務を行う。	図書館の(4館)の蔵書冊数	冊	260648	260240	262253	263000
② 図書目録作成事業	図書館システムのデータベースに図書目録を作成する。	図書目録冊数	冊	4518	3989	3801	4000
③ 図書館オンラインポータルサイト(TOOL)使用事業	「tool」を用いて発注し、図書のデータを登録、管理する。	図書登録冊数	冊	10361	11282	10542	11000

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 図書館(4館)貸出冊数	貸出延べ冊数	冊	350000	250000	300000	320000
			249356	282922	314780	
2 電子図書館の貸出数	電子書籍の年間貸出総数	件	***	***	25000	25000
			***	20487	22510	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない システム維持のために市が委託しなければならない
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input checked="" type="checkbox"/> 必要あり 電子図書館の導入に伴い、意図に追加しました。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 貸出業務の遅延が発生し、管理が難しくなる。サービスの低下につながる。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 指標2については、コンテンツ数の不足と認知度の不足が原因で未達成。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 図書館の蔵書データを管理するためには現在の細事業が適当だと思う
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり システム使用料や目録作成は単価契約のため余地はない
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり すでに全国的に確立されているシステムのため検討の余地はない
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 業務委託の中にシステム登録等も含まれているが、システムに関する不満も出ていないため検討する必要はないと思われる
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業はない
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 図書館の利用なので、受益者負担は考えられない

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	今後も継続して図書館システムの活用を図っていく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	今後も継続して図書館システムの活用を図っていく。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	今後も継続して図書館システムの活用を図る。 デジタル図書については、導入から2年が経過し、ライセンス切れ等がはじまる。選書については、ニーズを把握しながら継続購入なども検討し更なる利用増を目指す。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	たまな圏域電子図書館開館1周年を迎え、1市3町の独自資料や児童図書読み放題パックの導入、電子図書館の使い方を広報やHP、動画サイトに公開し、利用促進に努めてきた。来館しなくても、時間の制約もない資料提供方法であり、今後も利用の拡大のためのコンテンツの確保が必要である。子供から高齢者、障がい者及び子育て中の人などの来館が難しい人へのサービス拡充を行い、たまな圏域における新たな情報収集のツールとして住民の教養や生活に役立つようなコンテンツの充実に努めていく。	評価責任者
		西川慶一郎

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館施設管理事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	荒木 俊雄	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(3)図書館の振興			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項 5 目 3 細目 5

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各図書館は建設後年数が経過し老朽化が進行していることから、利用上の安全性の確保や、効率的な施設管理が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	図書館利用者、団体、図書館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	利用者に対して安全で快適な図書館を提供するために施設の維持管理を適切に行う。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容 【14】	・施設の定期点検(消防設備点検、警備保障点検、浄化槽清掃維持管理等)を行い、図書館が安心 ・安全に利用できるよう維持管理を行う。 ・利用者に配慮し、安全で快適な利用環境を確保するため修繕等行う。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ① 図書館施設維持管理事業 ② 図書館施設修繕事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	1,900	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	11	0
		一般財源	20,929	5,117	4,210	5,683	0
	【16】 小計	20,929	5,117	4,210	7,594	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.30	0.55	0.45	0.45	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.14	0.15	0.15	0.15	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	1,916	3,118	2,650	2,647			
合計	22,845	8,235	6,860	10,241			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 図書館施設維持管理事業	委託業者により施設の各整備を定期的に点検する。	設備点検委託件数	件	4	4	4	5
② 図書館施設修繕事業	施設や設備の修繕を行い、安全で快適な利用環境を確保する。	修繕件数	件	14	7	12	—
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 図書館利用者数	図書館利用者(4館)の延べ人数 委託業者による月報の合算による	人	94000	60000	60000	70000
			50659	59335	69662	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 妥 当 性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 市が実施するしかない。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 現時点では必要なし
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 市民サービス及び安全性の低下が懸念される
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 実績により
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 安全に維持管理するという事は、点検と修繕の繰り返しであるため
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 管理瑕疵は重大な責任問題になるうえ、管理施設が何れも老朽化しており、修繕内容も高額なものになりやすいためコストカットは難しい
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 現在管財課による包括施設管理が進められているため、長期継続の委託契約が終了したものから順次移行すると思われる。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現時点では各専門業者に委託しているので余地なし
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 点検・修繕等については、後々は上記した営繕課の包括施設管理へ統合可能と思います。しかしその場合は、その他の使用料や借上料・光熱水費などは統合できないため別途計上が必要です
公 平 性 【23】	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。 図書館利用なので、受益者負担は考えられない	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	今後も利用者が安心して図書館を利用できるよう施設の維持管理に努める。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	今後も利用者が安心して図書館を利用できるよう施設の維持管理に努める。 改善点として、令和5年度から単独施設である横島図書館については週2回のトイレ清掃を行うことになった。それにより活動指標①が令和5年度は4→5になっている。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	今後も安心して使用できるよう日常的に点検を行う。 快適に活用するためのニーズの把握に努める。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	市民図書館は開館から42年が経過し、建物・設備ともに老朽化していることから、市民が安全・快適に図書館を利用できるよう、今後も計画的な施設の維持管理に努めていく。また市内中心部における新たな施設については、令和5年度から「まちなか未来プロジェクト」において全体構想を構築するとともに、事業スケジュールや市民から親しまれる図書館像について検討するなど、庁内横断的に取組を進めていく。	評価責任者 西川慶一郎
----------------------	---	--------------------